

第1版第6刷 正誤表

(2022.2.25 更新)

頁	誤	正
75 ページ (3.52) 式	$y(t) = [1 \ 1 \ 0] \mathbf{x}(t) + u(t)$	$y(t) = [1 \ 1 \ 0] \mathbf{x}(t)$
151 ページ	ここで、時定数 T_{1p} はカットオフ周波数です.	ここで、時定数 T_{1p} の逆数がカットオフ周波数です.
175 ページ 注釈*4	具体的には、 $e^{-\zeta\omega_n t}$ となるので、 これが、0.05 以下となる時間が整定時間です.	具体的には、 $e^{-\zeta\omega_n t} = 0.05$ となる時間が 整定時間の近似値です.
191 ページ (6.4) 式右辺	$= \frac{1}{1 + \mathcal{H}(j\omega_{pc}) }$	$= \frac{1}{1 - \mathcal{H}(j\omega_{pc}) }$
212 ページ	$\mathcal{K}_1 = \frac{T_1 s + 1}{s}$ と近似できますので、	$\mathcal{K}_1 = 1 + \frac{1}{T_1 s}$ と近似できますので、
215 ページ リスト 6.11	<code>print('phase at 40rad/s =', phaseH1at40)</code>	<code>print('phase at 40rad/s =', phaseH1at40-360)</code>
216 ページ 実行結果	phase at 40rad/s = 176.8635987273622	phase at 40rad/s = -183.1364012726378
216 ページ	40 rad/s における位相は -176 deg 程度ですので、 位相余裕は 4 deg 程度になってしまいます.	40 rad/s における位相は -183 deg 程度ですので、 位相余裕は -3 deg 程度になってしまいます
216 ページ	$60 - (180 - 176) = 56$ deg だけ位相を進ませる	$60 - (180 - 183) = 63$ deg 程度、位相を進ませる
216 ページ	そこで、 $\phi_m = 56$ deg とし、	そこで、 $\phi_m = 63$ deg とし、
237 ページ	不確かさ $\Delta(s)W_T(s)/P(s)$ のゲイン線図を	不確かさ $\Delta(s)W_T(s)$ のゲイン線図を
238 ページ	(図 7.7 右図の縦軸) $\Delta W_T/P$ のゲイン [dB]	(図 7.7 右図の縦軸) ΔW_T のゲイン [dB]